

広報

あいづ ばんげ

11

No.687
2021

表紙：JR会津坂下駅の駅前公衆トイレ
～福島県立坂下高等学校の生徒の皆さんの意見を取り入れ建設しました。
詳しくは最終ページをご覧ください。～

目次 -CONTENTS-

福豆表を次世代へー繋がる伝統・繋がる心	2
庄平のどろんご日記	4
まちの話題	4
こころが疲れていませんか？	7
町職員の給与と職員数の状況をお知らせします	8
第33回 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(かくしま駅伝)	10
住宅にお困りの方を対象に、町営住宅の入居者を募集します	12
道路管理へのご協力をお願いします	13
「ホームスタートばんげ」を利用しませんか？	13
令和4年度 坂下南・東幼稚園新入園児募集！	14
児童・高齢者・障がい者虐待は私たちの身近で起こりうる問題です	15
お知らせインフォメーション	16
図書室だより・町史編さん調査余話(49)	21
こどもと健康の広場	22
会津磐梯山で『会津磐梯山』をプロジェクト アゲイン！	24

福豆俵を次世代へ――

繋がる伝統・繋がる心

古くから受け継がれてきた文化や技術が少子高齢化による担い手不足で次世代に残すことが難しくなってきました。

その様な中今回は、坂下初市に撒かれる「福豆俵」が様々な困難を乗り越え、多くの人たちの力により脈々と受け継がれていく様子をお伝えします。

―福豆俵の制作について―

毎年1月14日は大勢の人で賑わいを見せる坂下初市が開催されます。そして、坂下初市では大俵引きはもちろんのこと、拾うと1年間の福を授かると言われる「福豆俵まき」も人気行事のひとつとなっています。

恒例となっている「福豆俵まき」ですが、毎年撒かれる365個の福豆俵は60年という長い期間にわたり、石綿力さんご夫婦（五香）に制作を担っていただいております。

長年ご尽力いただいた石綿さんですが、この度ご高齢のために福

豆俵の制作を引退されることになりました。

一時は途絶えそうになった福豆俵ですが会津坂下町の伝統文化を繋げるために、坂下初市で民芸品を販売している和泉田スズエさん（桜木町）が引き受けてくださることになりました。

しかし、一人ではたくさん量を制作することができないことから実際の制作は町内の障がい者施設にお願いすることになり、9月13日に和泉田さんを講師に福豆俵制作の講習会が行われました。



▲福豆俵完成品



▲福豆俵づくりの講師を引き受けてくださった和泉田スズエさん

―制作方法の模索―

和泉田さんは、昨年までの福豆俵がどのように制作されていたかわからないため、石綿力さんに話を聞き、また、福豆俵を自ら分解して構造を勉強したそうです。材

料の一部である麻縄はもう販売されていないため、別のものを代わりに活用しています。昨年とまったく同じ福豆俵とはなりません。和泉田さんの工夫された作り方で会津坂下町の伝統が継承されていきます。

「協力してくれている方々」

障がい者施設「NPO法人いきいきサポートつくしんぼ」が運営する「ゆうゆうハウス」では、和泉田さんの指導のもと、利用者の方々により制作が進められ、また、両沼地区精神保健福祉ボランティア「ビオラの会」の皆さまの協力を得て、現在、来年の初市で撒かれる福豆俵365個を目標に制作が行われています。

施設利用者の方々はこも編みを担当しています。編み台やおもりは利用者の方々が使いやすいように工夫が施され、長時間作業するため足がしびれないように「すわらんしょ」（利用者が作成した手作りのいす）を使用して作業しています。

ゆうゆうハウス施設長の小椋厚子さんは「編み手がないという理由で町の大事な伝統を絶やしてしまうわけにはいかない、大切な伝統を継承するためにも、ぜひやらせていただきたいという気持ちで作業を引き受けさせていただきました。こも

編みのほかにも、新聞を切ったり、丸めたりする作業があり利用者の方全員が関わられる仕事なので施設としてもありがたいです。」と話してくれました。



▲左からゆうゆうハウス施設長小椋厚子さん、利用者の方、ゆうゆうハウス職員

「ビオラの会」会長の千葉親子さんは「わたしたちは最後の仕上げを任されているので緊張しますが、伝統行事が色々な手によって作られているということが改めて分かりました。」と話してくれました。



▲左からビオラの会副会長佐藤せつ子さん、副会長二瓶久美子さん、会長千葉親子さん

「次世代への継承」

長きにわたり貢献していただいた石綿さんの技術は和泉田さん、ゆうゆうハウス・ビオラの会が協力することにより、引き継がれました。伝統技術は人と人の心が繋がることで継承されていくとともに、次世代へと紡がれていきます。



▲たこひもできれいな星の形に合わせます



▲ゆうゆうハウスで作成している「すわらんしょ」に座って作業します。
販売先：道の駅あいづ 湯川・会津坂下
糸桜里の湯ばんげ
JA会津よつば 食彩館 うまかんべ

編み台



▲ゆうゆうハウス利用者の方々

おもり